

2021年7月13日

株式会社 KADOKAWA

## 新福利厚生施策「サブスク手当」で KADOKAWA は従業員のクリエイティブな発想を支援

～テレワークが進む中、多様なインプットを後押し～

世界中にエンターテインメントを届ける株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：夏野剛、以下 KADOKAWA）は、2021年7月より、ビジネスの源泉である従業員のクリエイティブな発想を支える新たな福利厚生施策として、従業員が契約するエンタメジャンルのサブスクリプションサービス（コンテンツなどを定額料金で一定期間利用できるサービス）の費用を支援する「サブスク手当」を導入いたしました。



### ■サブスク手当の概要

- ・名称：サブスク手当
- ・導入開始時期：2021年7月1日
- ・対象：KADOKAWA 正社員、契約社員
- ・サービス内容：幅広いコンテンツを自宅で楽しめるエンタメサブスクリプションサービス（映像、ゲーム、音楽、コミック、情報誌など 50 サービス以上）を1つ以上契約している社員に対し、毎月 2,000 円の手当を支給。

本施策は、テレワークの増加や外出自粛によって自宅で過ごす時間が増える中、従業員の余暇の充実とクリエイティブな発想のためのインプットを支援する制度です。施策の導入にあたっては、「誰もが活用できるサービスがほしい」といった従業員の声を参考にしております。

「サブスク手当」に加え、2021年7月より、当社グループの株式会社ドワンゴが提供する学習アプリ「N予備校」(※)が一般会員向けに提供しているプログラミングやWebデザインなどのコースが無料で受講できます。

今後も、定期的な従業員満足度調査や従業員との対話を通じて社内の課題やニーズを把握しながら、「守る」「支える」「学ぶ」「余暇」の4つを柱にした福利厚生制度など、諸制度を拡充してまいります。

KADOKAWAは、従業員のクリエイティビティを最大化することこそが、エンターテインメント業界においてさらなる飛躍を遂げるための鍵になると考えております。生活様式や働き方が日々変化する中、従業員がより快適に働き、自由な想像力を発揮することのできる環境の整備に努めることで、これからも世界中の皆さまに新しいコンテンツやサービスをお届けしてまいります。

#### ※オンライン学習アプリ「N予備校」

ドワンゴが独自に開発し、教材・生授業・フォーラムをスマホに最適化したオールインワン学習アプリです。双方向性システムを取り入れた生放送の授業では、コメントによる質問や挙手による回答添削、授業中の一斉アンケートシステムなど、学習の効率と質を向上させる機能が特徴です。2018年10月に、第15回「日本e-Learning大賞」において文部科学大臣賞を受賞しました。

【N予備校公式サイト】 <https://www.nnn.ed.nico/>

#### ■株式会社KADOKAWAについて

出版、映像、ゲーム、Webサービス、教育、MD、コトビジネス、インバウンド関連などの幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。働き方改革(ABW=Activity Based Working)を含めたデジタルトランスフォーメーションの推進により、優れたIP(Intellectual Property)を安定的に創出し、様々な形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を実践しております。

【KADOKAWAグループポータルサイト】 <https://group.kadokawa.co.jp/>

以上

---

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社KADOKAWA 広報部

E-mail : [pr-dept@kadokawa.jp](mailto:pr-dept@kadokawa.jp)

KADOKAWAグループポータルサイト : <https://group.kadokawa.co.jp/>